

第36回

福島県建築文化節

(令和元年度)

—— うるおいとやすらぎの

美しいまちづくりを求めて ——



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

福島県・(株)福島民報社・(一社)福島県建設業協会・(公社)福島県建築士会

(一社)福島県建築士事務所協会・福島県建築設計協同組合
(一社)福島県空調衛生工事業協会・(一社)福島県電設業協会
(一財)ふくしま建築住宅センター・(公社)日本建築家協会福島地域会

福島県市長会・福島県町村会

の 紹 介

(順不同)

◆ 特別部門賞

鈴木家主屋…………… 石川町
(建築主) 石川町
(設計者) 有限会社溝井宇一建築事務所
(施工者) 株式会社福産建設

町指定有形文化財である民家の解体保存されていた建物を、歴史考証を踏まえて丁寧に修復再生したものである。歴史的建造物の保存・公開として大きな意義があるが、それに止まらず、地域の歴史文化と伝統的な工法を将来にわたり伝える「郷土教育の場」、観光資源等を発信する「情報発信の場」、誰もが集う「まちなかのにぎわいの場」として、観光客が訪れる一方、日常的に高校生が利用しているという、言わば地域の臍となる身近な交流スペースに生まれ変わらせている点は高く評価できる。



◆ 特別部門賞

マイタウン白河
(中心市街地市民交流センター) …… 白河市
(建築主) 白河市
(設計者) 有限会社桂設計+株式会社青木茂建築工房
(施工者) 株式会社兼子組

市の中心市街地活性化プランの一環として、街の中心部にある旧大型商業施設を市民交流センターに再生したもので、地方都市における空き店舗のリノベーションの好例と言える。旧奥州道路からの見通しを遮っていた階段室を開放的にし、中央の床スラブを抜いて吹き抜けを設けることにより空間に一体感を持たせ、地下まで自然光が降り注ぐ明るい空間に改造し、幼児、中高生、高齢者等、世代を超えた人が日常的に過ごす居心地のよい交流施設となっている。南側に新たに出入口を設け、通り抜け空間とすることにより人の動きを生み出すなど、街の核として総合的な計画がなされていることは高く評価できる。

◆ 特別部門賞

喰丸小… 昭和村
(建築主) 昭和村
(設計者) 有限会社和泉設計
(施工者) 金子建設株式会社

公けに歴史的・文化的価値が認められた学校建築の保存ではなく、戦前のごく普通の校舎を、村民の心の拠り所として保存改修したものであり、関係者の決断をまず評価したい。外観を残しつつ、当時の仕上げ材を再利用するなど、補修方法や耐震改修方法、建築基準法への適合等について様々な工夫を重ねて実現した設計者の熱意と努力が伝わってくる。クラウドファンディングにより広く資金が集められ、誰にも懐かしい日本の学校風景を周囲の山並みや校庭の銀杏と調和した校舎が伝えている。

